

USB 接続ケーブル 極細タイプ ONE-USB-EFxx



その細さ、わずか2mm

- 流体へのインパクト低下や、機器内部へセンサ設置時の配線影響を低減させるための、極細型ケーブル。
- 細い線ですが、最長 15m まで製作可能。
- センサで捉えた細かな現象を、デジタル情報のまま得る事が出来ます。
- 標準製作品は、3m/5m/10m/15m

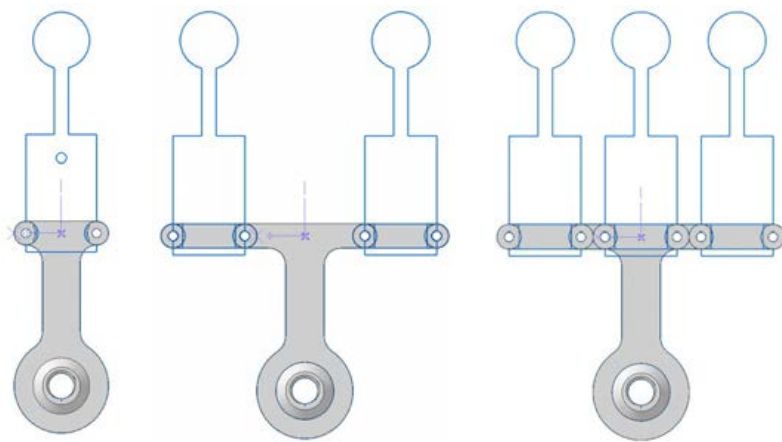
センサホルダ ONE-HLx

弊社センサを取り付ける事が出来ます。三脚等、1/4インチネジで固定できます。

※PMVセンサを取り付けた場合、ONE-HL3への取り付け可能センサ総計2個までとなります。



ONE-HL2
HWD-20V-ONE-T / PMV-20-ONE



ONE-HL1

ONE-HL2

ONE-HL3

センサハンドホルダ ONE-HDY-x



ONE-HDY01-HWX HWD-20V-ONE-T

●ONE-HDY01-HWX

風速センサ（HWS）や風向センサ（HWD）用に設計された手持ち用ケース。底面に1/4インチネジ穴が付いています。

●ONE-HDY01-PMV

PMV-20-ONE用に設計された手持ち用ケース。底面に1/4インチネジ穴が付いています。



ONE-HDY01-PMV PMV-20-ONE

詳細は、Web ページをご覧ください。

SG-Lab

検索



説明書をよくご覧になり、正しくお使いください。

※仕様、デザイン、付属品の種類は、改良のため、断りなく変更することがあります。
※これらの商品は、作物の生育や収量を保証するものではありません。
※故障等異常が発生した場合、直ちに使用を中止し、販売店等にご相談ください。

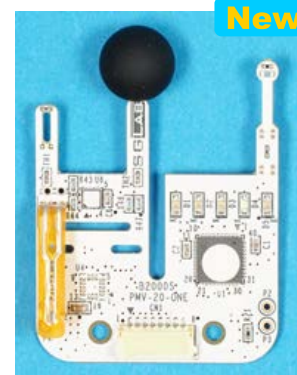
2025年07月 時点

快適性（PMV）センサ／輻射熱センサ LAN・WiFiアダプタ／RS485アダプタ／ケース

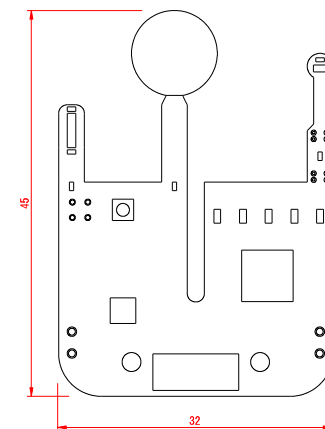
快適性（PMV）センサ



PMV-20-ONE



PMV-20-ONE/W



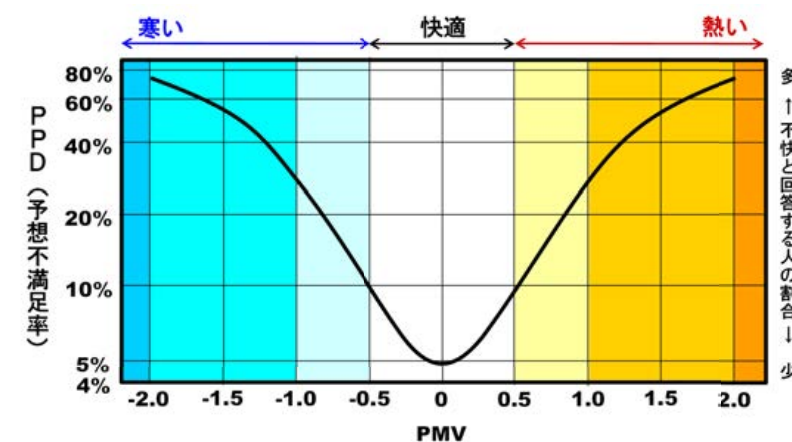
小型のPMV/WBGT センサ

- 小型・軽量
- 温湿度センサー・風速センサー・
輻射熱センサー搭載
- 輻射熱検出部は 10mm 黒球を使用
- シリアル通信出力
- 快適性指標（PMV）と、暑さ指数（WBGT）を算出
- ホワイトモデルもご用意
- アナログ出力機能（オプション：1 現象を選択し出力）

※WBGT 計測は、JIS B7922 クラス 1.5 相当の計測能力を持ちますが、黒球サイズが規格外となります。

特許 6332932 PAT.P

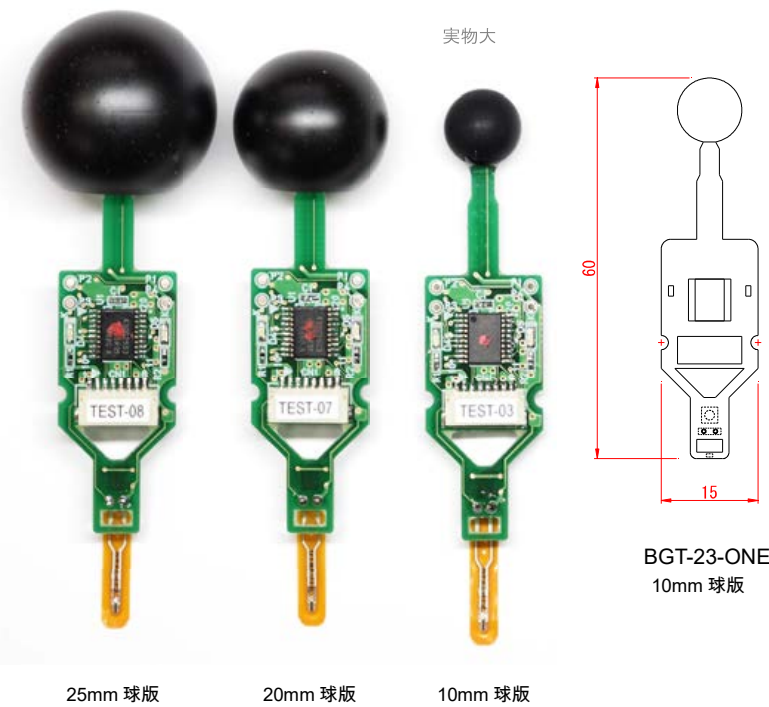
快適性とは



気温、湿度、風速、輻射熱、着衣量、運動量の6要素から算出される指標。人が感じる暑さ・寒さの両方の度を数値化することが出来ます。PMVは、ISO7730で規定されています。

輻射熱センサ

BGT-23-ONE



小型の WBGT センサー

- 小型・軽量・低コスト
- 温湿度センサーも搭載
- 150mm 黒球換算値を出力
- 検出部は最小で 10mm 黒球を使用、容積は 15cm 球の 1% と小型
- シリアル通信出力
- 暑さ指数“WBGT”値を算出

※JIS B7922 クラス 1.5 相当の計測能力を持ちますが、25mm 球版を除き、黒球サイズが JIS 規格外となります。

BGT-23-ONE
10mm 球版

WBGT（暑さ指数）とは

乾球温度（気温）、自然湿球温度、黒球温度（輻射熱）の3つの要素から算出される指標。屋内用数値と屋外用数値とで、異なる計算式で求めます。WBGTは、JISで規定されています。

WBGTによる温度基準域		注意すべき生活活動の目安	注意事項
31℃以上	危険	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
31℃未満 28℃以上	厳重警戒		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
28℃未満 25℃以上	警戒	中程度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
25℃未満	注意	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.4」（2022）を改編。見やすくなるように、危険度とWBGT範囲の列を分けてあります。

熱中症予防運動指針			
WBGT ℃	乾球 温度 ℃	運動は 原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31	35	運動は 原則中止	
28	31	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給する。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
25	28	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21	24	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
		ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

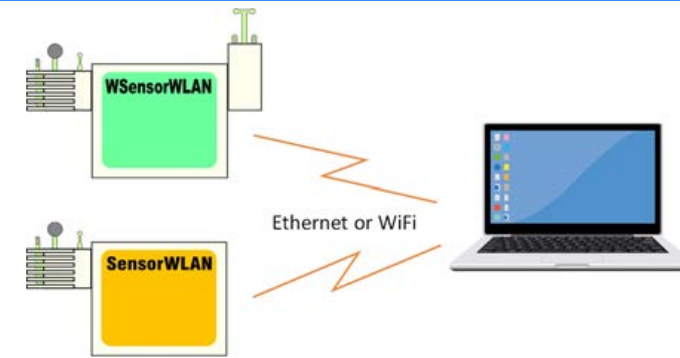
※・・・暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など。
（公財）日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」（2019）より抜粋

黒球サイズについて

黒球の標準サイズは 15cm 球とされています。
弊社の黒球は 10mm 球（1cm）を使用しています。
小型にすると、風の影響を受けやすい欠点があります。
一方で、応答性は 15cm 球が 25～30 分なのに対し、10mm 球は 6 分程度と、約 5 倍早く、また小型のため設置場所を選ばない利点があります。

センサ LAN アダプタ

SensorWLAN / SensorWiFi



●SensorWLAN

Ethernet と WiFi の両方のインターフェースを備え、どちらかの接続を選択できる通信ユニット。



センサーを LAN 経由で接続

- 弊社の“ONE”シリーズのセンサを接続して利用可能です。
- 常設や、多点配置でも利用可
- システムに組合せ利用も出来ます

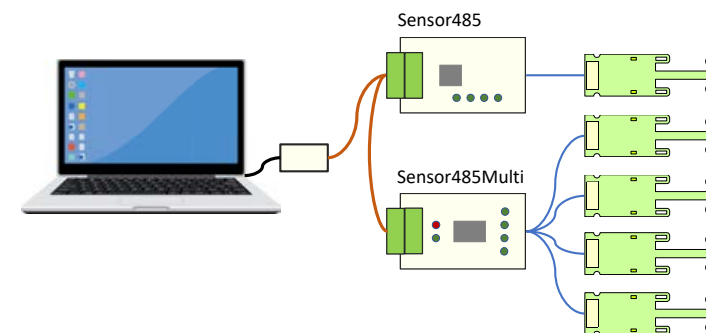
●WSensorWLAN New

SensorWLANの、2本のセンサ接続版。



センサ 485 アダプタ

Sensor485 / Sensor485Multi



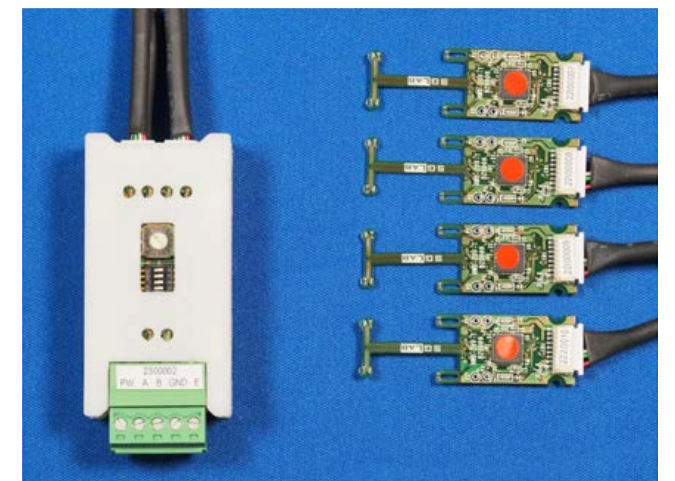
工業用途での安定した接続

- 弊社の“ONE”シリーズのセンサを接続して利用可能です。
- 常設や、多点配置でも利用可
- システムに組合せ利用も出来ます
- 総延長 500m 程度まで可能
- センサ駆動電源も含め、4 芯線で引き回せます。



Sensor485

HWD-20V-ONE-T



Sensor485Multi

HWD-20V-ONE-T